



### 長瀬小が東北大会にW出場

第30回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会(10月16日、岩手県奥州市)と第40回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会(11月12日、山形県天童市)に出場した長瀬小学校は11月17日、報告のため町役場を訪れました。

江川浩校長とマーチング主任の小椋千恵子教諭が「目標の全国大会出場はならなかったが、教員一丸となつての指導、保護者の協力と子どもたちの頑張りで東北大会に出場することができた」と報告。

バンドマスターの渡部大輝さんは「多くの方々に支えられたことに感謝している。練習の成果は発揮できた」、副バンドマスターの佐藤美澄さんは「最後の大会でいい結果が出て良かった」と感想を述べました。報告の翌日、カメラナで開催された同バンドの発表会と移杖式では、保護者や地元の皆さんの前で見事な演奏を披露しました。



写真上 移杖式で息の合ったマーチングを見せる児童たち  
写真下 東北大会出場の報告に町役場を訪れた時の様子。左から大川原副町長、渡部さん、江川校長、佐藤さん、小椋教諭、土屋教育長



### 野口英世博士の生誕を祝う

本町出身の世界的医学者、野口英世博士の誕生を祝う第135回誕生祭は11月9日、野口英世記念館至誠館で開かれました。誕生祭では、野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職の読教、関係者らの献花に続いて、翁島小学校の4年生が唱歌「野口英世」を披露。約90人の出席者が博士の功績をたたえました。八子弥寿男館長は「博士も逆境に負けずに立ち向かった。私たちが震災に負けずに頑張ろう」とあいさつ、前後公町長、鈴木武喜議会議長が祝辞を述べました。

誕生祭に続き、野口英世博士顕彰行事の作文コンクール・少年科学賞授賞式が開催され、受賞した小中学生を表彰しました。受賞者を代表して千里小学校4年の上妻優希恵さん、猪苗代中学校2年の遠藤安也奈さんが作文を朗読、会場は大きな拍手に包まれました。



写真上 唱歌「野口英世」を歌う翁島小4年生の児童たち  
写真下 作文コンクールと少年科学賞の入選者の代表に表彰状が手渡されました。写真は作文コンクール入選の桑原怜志さん(東中2年)

# スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



### 一生懸命な姿に大きな拍手

町内の保育所や幼稚園では、次々と保育発表会が開かれています。猪苗代幼稚園の保育発表会は11月25日、同園で開かれ、園児ら80人が日ごろの練習の成果を披露しました。

本多勝男園長は「今、教室を見てきました。子どもたちは張り切って、そして緊張している様子です。一生懸命に練習に取り組んできた成果を見て、大きな拍手をしてあげてください」とあいさつ。

白虎隊の剣舞や年長組全員参加の合奏「大きな栗の木の下で」「きらきら星」などに続き、リズム体操の「なるうげニンジャ なるるげニンジャ」「会いたかった」、オペレッタ「アリとキリギリス」「金のがちょう」などが披露されました。

踊りや劇に取り組む園児らの一生懸命な姿に、会場を埋めつくした保護者から大きな拍手や歓声が送られました。



写真上 年長組の園児らによる合奏「大きな栗の木の下で」と「きらきら星」  
写真下 軽快なダンスと華麗なアクションを見せた「なるうげニンジャ なるるげニンジャ」



### 合格目指し粘り強く頑張れ

J A あいづから町内3中学校の3年生へ「合格祈願米」を贈る贈呈式は11月24日、役場正庁で開催されました。

この米は、会津若松市神指町の水田に会津若松市立第六中学校の生徒約100人が手植えをし、収穫後は会津美里町の文殊院清龍寺で祈祷をしたコシヒカリ。J A あいづの五十嵐孝夫代表理事専務は「会津の主要な生産物である米を食べて、粘り強く合格を勝ち取ってほしい」と生徒らを激励、各校の代表と校長などに人数分の米を手渡しました。

前後公町長、土屋重憲教育長も「子どもたちは町の未来。一人でも多くの合格を願う。健康に注意して頑張ってください」と生徒を励ました。

生徒を代表して東中学校の古川公望さんが「しっかりと体調管理をして、粘り強く勉学に励みたい」とお礼と決意の言葉を述べました。



写真上 左から猪苗代中学校の小板橋成彦さん、吾妻中学校の金作渚さん、東中学校の古川公望さん  
写真下 祈願米を受け取る古川さん。最後に生徒を代表してお礼の言葉を述べました